No.01 2018 April メディア掲載事例

女性トレンド情報誌 「HER STORY REVIEW」で

d'onna O 商品開発の 取り組みが 紹介されました

「HER STORY REVIEW」は株式会社ハー・ ストーリィが発行する、女性客トレンドガ イドです。2018年2月号の特集「眠っている 女性労働力を発掘!」で、女性150名チーム の商品開発として、d'onnaの「新潟手帳」と 「にいがたもよう研究所」の取り組みが掲載 されました。



%[HER STORY REVIEW] 2018年2月号より http://herstorv.co.ip/

女性ならではの視点が活かされている最新商品を紹介

印刷会社の女性150名チームから誕生 「新潟手帳」「にいがたもよう研究所」

株式会社第一印刷所



女性社員 150名で組織する 印刷会社のマーケティングチーム

新潟県の大手印刷会社である株式会社 第一印刷所。同社には「d'onna (以下ド ンナ)」という女子企画チームが存在する。 グループの女性スタッフ約 150 名で組織 されるマーケティング集団で、女性視点に よるブランディングや商品開発などを請け 負っている。製造業では珍しく、企画部門 の半数以上が女性で、子育て支援や女性 根づいていた同社。「女性職員だけで何 つ、地元・新潟を盛り上げるべく、ドンナ 主体の活動も行なっている。代表的な企 画が「新潟手帳」と「にいがたもよう研 究所しだ。

地元と印刷へのこだわり 新潟を伝える手帳・文房具

「新潟手帳」は、より新潟を元気にする 商品を生み出そうと誕生。印刷会社のた め、紙にこだわったアイテムとして手帳を 選んだ。表紙はリバーシブルで、新潟の げとして買っていく。

春夏秋冬を表現する刺繍柄と、県内の染 物工場とコラボレーションした手ぬぐい柄 の2パターン。中身は県内の観光地やイ 増加し続け、感想やSNSなどでの投稿も 増えている。「新潟手帳に載っている場所 なるコト・モノの発信を目指すという。 を訪れるのを楽しみに一年を過ごしていま す」という感想もあった。

「にいがたもよう研究所」は、新潟愛を デザインの力で高めるプロジェクト。「賞 味期限を気にせず持ち運べ、女性がかわ 管理職登用など、女性を応援する風土が いいと思えるおみやげが欲しい」というド ンナメンバーの意見からスタートした。朱 かやってみたい」という熱意から立ち上げ 鷺(トキ)や米といった新潟らしいモチー に至った。クライアントのサポートをしつ フがカラフルでかわいい模様となり、ノー トやポチ袋などの文房具として入手でき る。模様を手がけるクリエイターも新潟県 出身や在住の女性たちだ。研究所は地元 の若手クリエイターが活躍する場も担う。

旬情報はメンバーで共有 地元愛がファンを呼ぶ

「新潟手帳」と「にいがたもよう研究所」 商品は共に女性の購入者が多く、地元住 民だけでなく県外からの観光客もおみや





ドンナメンバーはグループ各社・各部署 にまたがって所属しているため、入手した 情報はグループウエアや月1回のミーティ ベント情報が充実している。販売数は年々 ングで共有。今後も女性消費者日線を活

> "新潟が好き"というドンナメンバーの 思いが県内外のファンを呼び、地域活性 につながっていきそうだ。

COMPANY DATA

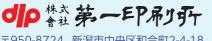
新潟県新潟市中央区和合町 2-4-18 PHONE: 025-283-6222 SITE: www.dip.co.ip

SITE: www.dip.co.ip/techou. にいがたもよう研究所

SITE: niigatamovou.tumblr.com

地元の特色を「今どき」のデザイン に編集した商品群。地元を盛り上げ たい、自分たちの商品が好き、とい う熱意は女性客の心を打つ。

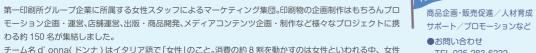
女子企画チーム



の感性と企画力を活かしたサポートを実践しています。

http://www.dip.co.jp

第 - CIC TEL.025-283-6222 〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18 中越支店 TEL.0258-34-6300 上越支店 TEL.025-524-8650 情報工房佐渡 TEL.0259-23-2407



TEL.025-283-6222 担当/小林







わる約 150 名が集結しました。

025-283-6222 info@dip.co.jp

d'onna PRESS





d'onnaがプロデュースしている「にいがたもよう研究所」と、新潟市出身、元宝塚歌劇団 月組組長 越乃リュウさんのコラボ商品が誕生しました。

なんと、「にいがたもよう」の大ファンと言ってくださった越乃リュウさん。あるご縁が きっかけで、越乃さんオリジナルのもようを作ることになりました。打合せを重ね、越乃 リュウさんがイメージする新潟らしさをd'onnaメンバーでかわいいもように。

笹団子、米、信濃川、そして、もように溶け込むように、 越乃さんのお名前の「越」と「乃」、宝塚で活躍された 月組の「月」をさりげなくあしらい、郷土・新潟を愛する 越乃さんの思いがつまったもようです。

「越乃リュウもよう」の一筆箋とクリアファイルを販 売しています。



にいがたもよう研究所とは?

TwitterやInstagramをチェック!

にいがたもよう越乃リュウもよう

【一筆箋】 価格:600円(税込)、24枚綴り 【クリアファイル】 価格:400円(税込)



情報工房DOC 朱鷺メッセ店 万代メディアシップ店











d'onna PRESS No.01 2018 April

donnaの印刷 マメマメ知識



レーザー加工の世界

当社では、レーザー加工機「FLEXI 800」を 導入しました。レーザーで微細な加工が1点 ごとに可能、そして「抜き加工」だけでなく 「彫刻加工」も可能です。

性能面では、これまでのレーザー加工機よ りも短時間で加工できるメリットと、加工可 能な最大サイズが800×800mmと大判に なっていることが特徴です。

紙はもちろん、革や布、木、アクリル素材な どへ彫刻加工ができます。

1点ごとに加工できますので、「名前」や「記 念日」、「ロゴ」なども入れて、記念品やギフト など大切なシーンを彩るアイテムとして、オリ ジナルの表面彫刻も可能です。

お客様からは、見ていただいた瞬間に 「おぉ~!」「こんなに細かいの!?」という 驚きの反応をいただいています。この「微細・ 美彩」な技術で、さらに「もっと喜ばれる」 「もっと感動していただける」商品を提案して いきます。

レーザー加工機についての お問い合わせ窓口

㈱第一印刷所 担当営業 または ㈱第一印刷所 企画開発本部 中村·金子(純)





当社のレーザー加工の見本帳

「長岡開府400年記念卓上カレンダー|

長岡城のシンボル「御三階」をモチーフにした 立体感のある2018卓上カレンダー。 水道タンクや錦鯉、花火、火焔土器などがデザ インされています。







[彫刻加工] 写真などから彫刻することも可能です

佐渡汽船 株式会社様

d'onna

佐渡汽船株式会社様の女性チーム「PR推進室」様と、d'onnaとの共同企画がスタートしました。

2018年3月9日、佐渡の日(3月10日)の前日に、「Sa・ d'onna (サドンナ)」がスタートしました。サドンナって 何?と思われるかもしれませんが、佐渡+d'onna、そ のものズバリ「Sa・d'onna」です!

佐渡の魅力を、女性目線で発信したい、もっと女性 が楽しめる「佐渡」を知ってほしい、そして体験してほ しい。そんな思いで、佐渡汽船株式会社様の女性メン バーとd'onnaがタッグを組み、誕生しました。佐渡の PRのために活動していきます。



日本海のブルーと、佐渡の島の形を朱鷺色にデザイン。 佐渡+d'onnaでサドンナです。



佐渡愛あふれるPR推進室様は昨年から始動されていて、手書きの新聞「佐渡は 東京23区よりも広いよ新聞」(略して「よりも新聞」。ネーミングが面白い!)を発行 されていたり、佐渡汽船のカーフェリーでの船上イベントを不定期開催したり、女 性目線で様々な企画を展開されています。今年はそこに弊社d'onnaメンバーも参 画し、グッズ開発や女子旅の紹介企画なども予定しています。ご期待下さい!

よみがえる銅板印刷

昔の印刷版から印刷したい お客様の想いを形に

デジタル印刷が台頭する現在ですが、かつて行わ れていた銅版を印刷するプロジェクトが第一印刷所 で実施されました。銅版を印刷するのは、弊社では 約35年ぶりです。

このプロジェクトのきっかけは、ある方からのご依 頼がきっかけでした。

その方とは、先日「市山七十郎(なそろう)」を襲名 された日本舞踊の市山流の七十世(なそよ)改め 七代目 七十郎さんです。昨年の秋に、「よその印刷会 社さんからいただいた昔の印刷の版なのですが、 印刷できませんか?」と弊社にご相談くださいまし た。版を持っていた印刷会社さんはもう廃業されて おり、他の印刷会社さんにも「できない」と断られた そうです。弊社のベテラン印刷技能士を中心に試行 錯誤をして、なんとか紙に印刷することができました。

絵柄は先代(お母様)が七十郎さんを身ご もっていらっしゃった当時、翁の装いをしている ものです。襲名を控えたタイミングでこのような 機会をいただき、光栄でした。

さて、銅版自体はハガキサイズですが、大きく 引き伸ばして、皆さんにご覧いただきたいという ことで、B3サイズにして額装したものを襲名公 演である「市山会」にて飾っていただきました。

最新の印刷技術を求めつつ、お客様のニー ズにお応えするために昔からの技術の伝承、 ものづくりの心を大切にする。

そんな企業でありたいと思います。



昔ながらの 銅板印刷に 挑戦した動画が ご覧いただけます。

https://www.youtube.com/watch?v=3F14pZ3Ffyo



銅板を印刷し、ポスターにした写真

